

# 福井県並行在来線経営計画（検討項目）の概要

令和2年2月10日  
地域鉄道課

資料7-1

## ○ 基本事項

- (基本理念) ・輸送の安全・安定を最優先に確保  
・地域に密着した「県民鉄道」へと一新し、生活や交流の基点となるサービスを提供  
・行政や企業、住民の協力のもと、長期に渡って安定した経営を維持
- (経営形態等) ・経営主体 …県・市町・民間からの出資による第三セクター会社  
・地域鉄道との連携 …福井鉄道、えちぜん鉄道との事業連携により効率化と利便性向上

### 経営計画（検討項目）とは

- 平成30年8月に決定した基本方針に基づく検討項目について、現時点で取りまとめたもの。
- 今後、各項目をより具体化し、令和3年1月頃に最終案を決定後、三セク会社に引継ぐ。

## ○ 主要事項

### ① 運行計画

#### 通勤・通学時間帯の利便性向上策などを立案

#### ○増便・快速列車の運行

- 乗車率が高い区間の朝、夕を中心に増便
- 快速列車（増便扱い）の運行

#### ○利便性の高いダイヤ

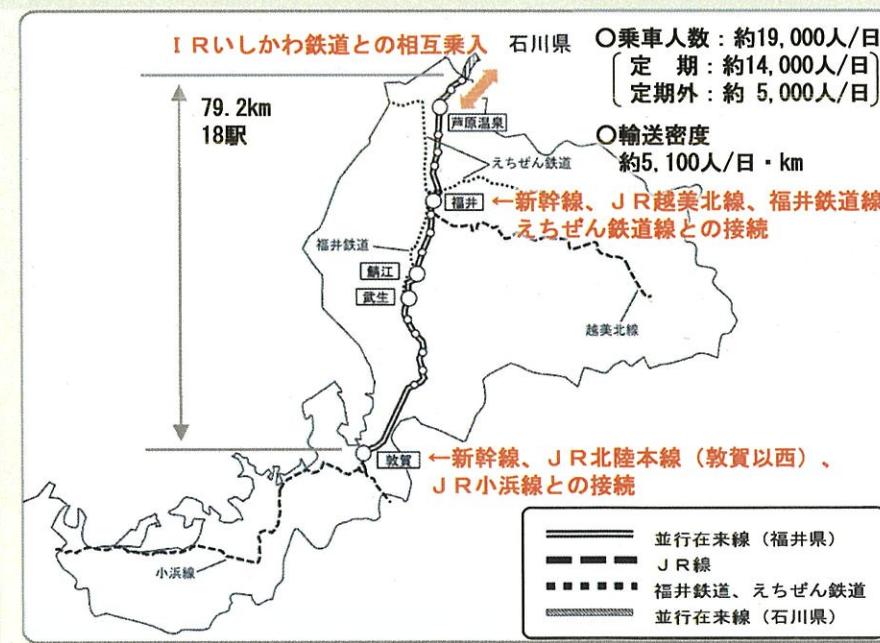
- 可能な限りパターン化（毎時〇分に発着）し、わかりやすいダイヤ編成
- 新幹線やJR特急など他社線との接続利便性の確保
- 大規模集客イベント時における臨時便の運行

#### ○石川県区間との相互乗り入れ

- 福井・石川県境を跨ぐ乗客の利便性を確保

#### ○観光・イベント列車の運行

- 沿線市町で催されるイベントと連携した列車の運行
- 定期外利用者の確保を目的とした観光列車の運行

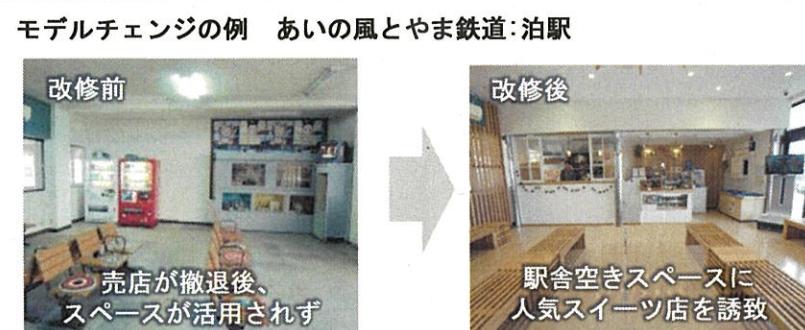


### ② 利用促進策

#### 地域が一体となって鉄道利用を促す環境づくり

#### ○既存駅のモデルチェンジ・駅周辺用地の活用

- 親しまれる駅、行ってみたくなる駅に改善



#### ○パーク＆ライド駐車場の拡充や駐輪場の移設・新設

#### ○新駅の設置

- 三セク会社の増収に資するものであることを前提に、沿線市町と十分な意思疎通を図りながら検討

#### ○駅・駅周辺のにぎわいづくり

- 駅舎内、駅周辺での各種イベントや市場等の開催

#### ○地域交通との連携

- JR各線、福鉄、えち鉄、バス会社とも連携し共通フリー券など企画切符の発行や鉄道イベントの共同開催

#### ○インバウンドへの対応

- 訪日外国人にとって利用しやすいサービスを提供

#### ○マイレール意識の醸成

- 会社名称を広く公募により決定
- サポートーズクラブの設立

### ③ その他の検討項目

#### 効率的な組織・施設、経営の安定化など

#### ○組織・要員計画

- 運営組織のスリム化
- 人的支援をJRに要請

#### ○施設・車両計画

- 譲渡前の修繕・改良をJRに要請
- 車両は現在の営業車両の耐用年数等を確認のうえ、譲渡についてJRと調整

#### ○収支見込み、経営安定化策

- 令和2年度に再度実施する旅客流動・需要予測調査の結果を基に収支を見直し
- 先行事例も参考に運賃水準を設定し、経営安定基金（仮称）の規模を決定
- 拠出者は県・市町のほか、企業からの寄付やふるさと納税による支援も検討

#### ○旅行業、広告業、不動産業など関連事業の展開

#### ○開業に向けたスケジュール

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 令和2年2月   | 経営計画（検討項目）公表            |
| 令和2年5月～  | 旅客流動および需要予測調査           |
| 令和2年12月頃 | 収支見通し公表                 |
| 令和3年1月頃  | 並行在来線対策協議会              |
|          | ・出資および基金に係る関係者間の負担合意    |
|          | ・経営計画（最終）を決定し、三セク会社へ引継ぎ |
| 令和3年夏頃   | 三セク会社増資、本格会社へ移行         |
| 令和5年春頃   | 並行在来線開業                 |